

1dayセミナーからロングコースまで、ピッタリの講座が見つかる!

www.therapylife.jp

アロマテラピー+カウンセリングと
自然療法の専門誌

隔月刊 AUG. 8月号
2009 vol.44
定価980円

セラピスト

第2特集

心の成長を促し
自己治癒力を高める自然療法

ホメオパシー



ボディワークとヨガを融合した
「タッチ・オブ・ヨガ」

『1/4の奇跡』
監督・入江富美子さん対談

第1特集

アロマ、整体、
スピリチュアルセミナーから海外留学まで—

今の私にピッタリの
スクール&ワークショップ

ドイツ人医師、サミュエル・ハーネマンによって発見された自然療法・ホメオパシー。

英國王室でも古くから健康法として利用された歴史を持ち、現在でも医療現場で積極的に活用されています。

このホメオパシーをセラピストはどのように活用し、効果的に取り入れていけばいいのでしょうか。

第2特集では、ホメオパシーのカウンセリング、ホメオパシーを病院に取り入れている医師、

学校・動物病院で活躍するホメオパスたち、海外のホメオパシー事情など、ホメオパシーの現在形を紹介します。

セラピスト自身もクライアントと共に成長しながら、自己治癒力を高めていける――

そんなホメオパシーの魅力をお届けします。

ホメオパシー

人を癒し人に癒され――
心の成長を促し自己治癒力を高める自然療法



Homoeopathy

Part 1

ホメオパシーの基礎

Part 2

セラピストへの提言
由井寅子さんインタビュー

Part 3

ホメオパシーのカウンセリング

Part 4

医療との融合
セントマーガレット病院の試み

Column

ホメオパシー先進国・
欧米のホメオパシー

広がるホメオパス活躍の舞台
産婦人科・アニマルクリニック・学校

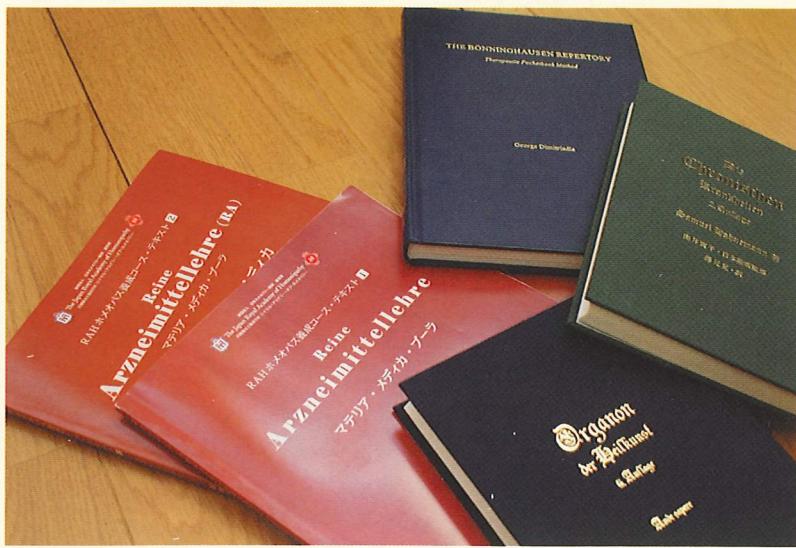


「心と体を癒し直の自分に帰る 究極のデトックスです」

ホメオパシーとはいつたい何でしようか?

東京・渋谷区西原にあるロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー（RAH）で講師として活躍する岡本祥子さんに、その基本的な考え方や背景、活用方法を聞きました。

取材・文◎水原敦子



似た症状を起こすものを
あえて取り入れる同種療法

まず初めに、ホメオパシーの特徴を
教えてください。

「ホメオ（エ）」は同じ、「パシー」
は病気という意味があり、日本語では
同種療法といいます。同種療法は、日
本でも昔から、喉が痛いときにあえて
喉がひりひりする生姜湯を飲んだり、
熱が出たときはふとんをかぶつてさら
に熱を出したり、といった民間療法が
行われてきましたよね。不調が起きた
ら、それと同じ不調を引き起こすもの
で手当てをすること。自然治癒力のス
イッチを押し、体の根本から不調を癒
す代替療法なのです」

いつごろからホメオパシーは行われ
てきたのでしょうか。

「同種療法は、すでに古代ギリシャ時
代には行われていました。そして今か
ら200年前、ドイツ人のサミュエル・ハ
ーネマンが再興させて現代に至
ります。

医師だったハーネマンは、当時の医

療に限界を感じ、翻訳業へと転じます。
そして、『薬学大全』という古い文献
を訳しているとき、キナの皮がマラリ
アに効くという一文に出合います。な
ぜ効くのかを追求するために、自らキ
ナの皮を煎じて飲んだところ、マラリ
アと同じような症状が現れたそうです。
その一方で、飲むことをやめると
症状はひいていました。

レメディーがどうやって作られるか
というと、まずレメディーのもととなる
原料をアルコールに漬け込み、マザ
ーチンクチャーやを作ります。このマザ
ーチンクチャーやを一滴、蒸留水を99滴
あわせて100滴分の液体を、44回た
たきます（振盪）。このようにマザ
ーチンクを100分の1に薄めたレベル

に移り住み、ホメオパシーによって
ヨーロッパの人たちをサポートしてい
きました。その後、この療法は世界各
地に広がり、現在は日本でもホメオパ
シーを活用している人が増えています。

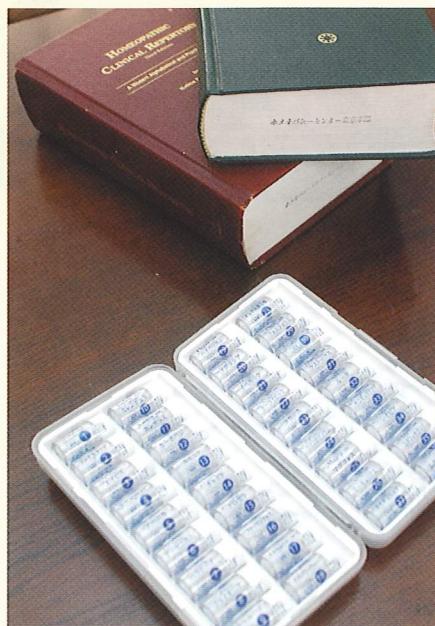
「先ほども言いましたが、レメディー
と呼ばれる砂糖玉を、クライアントが
抱える不調にあわせてとつてもらいま
す」

効果的なポーテンシー(希釈の度合い)

ポーテンシー	希釈倍率
3 X	10^3 (1000倍希釈)
6 X	10^6 (100万倍希釈)
9 X	10^9 (1億倍希釈)
12 X	10^{12} (1兆倍希釈)
12C	10^{24}
18C	10^{36}
30C	10^{60}
200C	10^{400}
1M=1000C	10^{2000}
10M=10,000C	10^{20000}
50M=50,000C	10^{100000}
C M=100,000C	10^{200000}
D M=500,000C	$10^{1000000}$
MM=1,000,000C	$10^{2000000}$

希釈や振盪を行って、レメディに活力を入れることをポーテンタイゼーションと呼び、10倍希釈法（単位はX）と100倍希釈法（単位はC）の2通りがある。たとえば、12Xであれば、希釈倍率は 10^{12} 、つまり10倍希釈法を12回くり返した数になる

*資料提供／ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー



自然治癒力に働きかけ、不調の予防にも貢献しているホメオパシー。レメディーを手に持ってセッションを行うセラピストもいるのだとか



岡本祥子（おかもとさちこ）さん
JPHMA、HMA認定ホメオパス。
RAH講師。1970年生まれ。東京芸術大学卒業後、美術品の販売に従事。その後アトピーがきっかけでホメオパシーに出会い、この道を志す。RAH第二期生。在学中自宅出産、ホメオパシーで育児中。

ポーテンシーの単位

X < C < M

↑
より体の組織に
働きかける

↑
よりトラウマ
(精神的・霊的に働きかける)

← → より低い希釈

→ → より高い希釈

ポーテンシーの単位は、より低い希釈からX、C、M。低い希釈の場合は、より体の組織に働きかけ、高い希釈は、より精神的に働きかけるという

を1Cと言います。たとえば30Cのレメディーでは10の60乗に希釈されているため、銀河に涙を一滴落とすような濃度です。もとの物質は1分子も残つていません。しかし、希釈度合いが高いほど、エネルギーが高まります。

ハーネマンの時代には、植物や鉱物から作られた百数十種類のレメディーがあり、今でも重要視されています。

また、ここ20～30年のあいだに、病原菌、色、音の波動、元素、ジエム（宝石）など、さまざまな原料から作られたレメディーの種類が増えています

ホメオパシーは本来の自己治癒力を目覚めさせる

ホメオパシーによって、人はどのように癒されるのでしょうか。

「ホメオパシーでは、不調はあります。ただし、と考っています。なぜなら不調を引き起こすウイルスや病原菌は、敵ではなく、自分の持っている問題に気づかせ、浄化してくれると考えられるからです。ウイルスや病原菌は、老廃物がたまつた土壌に集まり、熱や不

調として問題を外に押し出す役目をするのです。

先祖から持ち越した傾向や、トラウマなど、抑圧された感情が滞っている場合もあります。ホメオパシーは眞の自分に帰るために、こうした状況の心も体も癒す、究極のデトックスだといえます。

よく生命エネルギー（＝バイタルフオース）は、コマにたとえられます。ぶんぶん回っているコマ＝バイタルフオースに、ストレスや病原菌などの負荷（重り）がかかると、コマはアンバ

ランスになります。ホメオパシーのレメディーは、そうした余分な重りをとりはらい、本来の自然治癒力を呼び覚ましてくれる、という仕組みなのです。最後に、初めてホメオパシーを取り入れようと考えている方々にメッセージをお願いします。

「ホメオパシーは、子供からお年寄り、妊婦さんまで、どなたでも安心して使うことができます。もちろん、アロマテラピーやフラワーエッセンスなど、別の療法や現代医学と併用してもかまいません。

ただ、慢性的に不調を抱える方は、さまざまな心や身体の抑圧があり、セルフケアでレメディーをとるだけで、できるだけプロのホメオパスのカウンセリングを受けましょう

ホメオパシーでは表面に現れる
症状を抑えてはいけない

——まず、ホメオパシーの「今」
について、教えてください。

由井寅子氏（以下敬称略）

ホメ

抑圧は大きな問題で、病気を根深く複雑にしています。14年前、私がイギリスから日本に帰ってきて直面した問題はここなのです。今のような化学物質に溢れた状況は、ハーネマン時代にはなかったことです。ハーネマンの原則に立ち返りながら、どうやってそこを乗り越えていけばいいのか。そして気づいたのです。この人工的な化学物質に溢れた世の中は、私たちの病んだ心の反映であり、同時に人工的な化学物質の摂取が私たちの心を歪めてしまったのだと。そして今の時代、私たちを健康へ



Part 2

セラピストへの
提言

由井寅子さんインタビュー

「私たちの仕事は人を理解すること。
ただし、自分の人生を理解しないと
人は理解できないのです」

日本に広くホメオパシーを知らしめた第一人者であるホメオパス・由井寅子さん。今年4月には、ベルギーで開催されたホメオパシー国際教育シンポジウムに招待され発表を行い、欧州のホメオパシー先進国の専門家たちをうならせました。目覚しい活動を続けている日本ホメオパシー財団・日本ホメオパシー医学協会会長の由井寅子さんに、ホメオパスの役割やホメオパシーの現状についてお話をうかがいました。

取材・文◎水原敦子



と導いてくれるのは、これら化学物質や薬から作られたレメディーではないかと。そうして薬から作られたレメディーを使い始めたのです。

たくさんの薬で、現代人にはさまざまな「ふた」ができてしまつて、いたことがわかり、まず、それらのふたを徹底的に取り去ることから始めたのです。そうして初めて、その人本来の症状が明確になる。そのときハーネマンの言う、一粒のレメディーが生きてくるのです。身体に現れる症状は、体内の老廃物を排出する浄化の過程で

あり、内面の不調を教えてくれる、とてもありがたいものだということ。決して忌み嫌うものではない。そしてできるだけ人工的なものを避け、自然なものを利用する。それをみんながあえて賢くなつて、気づいていかなきやいけない時代が來たと思つています。

ホメオパシーの勉強をする

ホメオパシーの勉強をすること

——ホメオパシーの勉強をすると、人生の勉強をすること

由井 クライアントとの相談会では、ホメオパスはタイムライン（人生の出来事）を約1時間かけて聞いていきます。母親の妊娠時の状況や心理状態、出産時の状況、予防接種歴、病歴と薬剤歴、精神的なシヨックなどすべて聞きます。このタイムラインを眺めていると、その人の人生のパターンや病気の原因が見えてきます。とくに私は「この人生の中で何が一番つらかったか」という質問をします。失恋、誹謗、誰かの死など、

人それぞれにつらい出来事をもっています。もし、その出来事以来、体の不調が始まつたのであれば、その出来事が原因と考えられます。人を知るということは、「この人がどこで詰まつたのか」を知り、受け止めることです。しかし、その出来事はその人にとつてものすごい悲しみや怒り、あるいは絶望をもたらしたかもしれないが、別の人にとってはなれませんが、別の人にとってはなってことないことだつたりします。つまり原因は外ではなく、自分がかかるこだわりの反映として出来事を否定的にとらえてしま

最新のホメオパシー情報を積極的に入手するには――

日本ホメオパシー医学協会

1998年に設立された日本ホメオパシー医学協会（JPJHMA）は、2009年3月から新たに、日本ホメオパシー財団（JPJHF）の組織としての活動をスタートさせた。日本で唯一、ホメオパシー職業保険が整備されている職業団体で、国内でプロのホメオパス（職業保険に加入しているホメオパス）として活動する場合は、JPJHMAの認定試験に合格する必要がある。また世界28カ国、30地域のホメオパシー団体が加盟する国際ホメオパシー評議会（ICH）の日本代表を務める。

2009年9月12、13日には、JPJHMAの第10回コングレス（ホメオパシー医学学術大会）が国立京都国際会館「アネックスホール」にて開催され、全国の認定ホメオパスによる症例や研究成果等が発表される。コングレスの詳細は、JPJHMA事務局までお問い合わせを。



ホメオパシー医学協会が主催するコングレス。
学術発表や講演会が行われる

「ヒーラーはセラピストじゃない、クライアント自身なんです。『自分が癒した』と思つてはいけないんです」由井寅子さん

うのです。結局、自分の中に原因があること、自分の中にインナー・チャイルドがいることに気づき、こだわりを乗り越えていくことが人生の勉強で、ホメオパシーを学ぶということは、まさに原因は外ではない、外の出来事に共鳴する原因を自分がもつているということを理解するということです。

だからホメオパシーを理解するほどに、人生を学びに変えていくことが容易になっていく。ホメオパス自身が、自分の人生を理解し、つらい出来事を自己成長に変えていくことで、クライアントの人生を聞いたときに理解することができると思うのです。ホメオパスの仕事というのは、人を理解すること。ホメオパスが自分の人生を理解していないと、人を理解することはできないのです。

——セラピストも、自分自身を癒されていないと、愛してほしくて、

うのです。認めてしまします。セラピストは人から愛を求めるのではなく、人を愛する人間になるよう努力する必要があります。そのためには自分の中にあるインナーチャイルドを見つけて愛してあげなければならないし、トラウマを乗り越えて行かなければなりません。癒しきれていくなくてもいいのです。自分の弱点に合うクライアントがいっぱい来て、成長していくことができます。そしてそれをクライアントに還元していく、これがセラピストの役割ではないかと思います。

つまりセラピストにとって一番大切なことは、「ヒーラーはセラピストじゃない、クライアント自身なんだ」ということ。クライアントの自己治癒力が強いから、元気になるんです。セラピストがいい結果をたくさん出せるようになると、どうしても「自分が癒された」と思つてしまふ。こうした罠に陥りますが、セラピストははまらないように

さまざまなジャンルの治療家がホメオパシーを学び使っているから信頼されるためには、セラピスト自身が心を開き、正直で愛が手放しで理解されたとき、人は真実を話すんですよ。ホメオパスが心を閉じて、偉そうに小手先でやつて、どうしてクライアントが自分的人生の苦しかった出来事や秘密にしている出来事を話してくれるでしょうか。「だからこんなふうに傷ついたんだよね、だからつらかったんだよね」と私は聞きました。そうするとクライアントが涙を流すのです。人は理解された時に泣くのです。だから「これが真実だ」と私は確信します。

——ホメオパシー研究の進化について教えてください。

由井 私の研究によつて、免疫疾患や発達障害の多くがワクチンなどの医原病であることがわかりました。今まで、138名の自閉、多動の子供たちを見てきました。そのうちの88%がとても元気になつています。今後は、医原病をよりよく治癒に導くために薬剤のレメディーの研究が不可欠になつてきますが、数年前から精力的に取り組んでいます。

また肉体面、精神面だけでなく、靈的な側面へのアプローチ法も研究しています。たとえばレメディーで未成仏靈を成仏させる方法もあります。病気は肉体、感情、精神（心）、靈性が関係していると思いますが、ホメオパシーは、そのすべてにアプローチすることが可能なホリスティック医療と言え



由井寅子（ゆいとらこ）さん

ホメオパシー博士、日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）会長。英国ホメオパシー医学協会（HMA）名誉会員。1997年4月、日本に本格的な同種療法士養成専門校、日本ホメオパシー財団認定のロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー（RAH）を創設。同校の学長をつとめ、日本におけるホメオパシー教育の礎を築いた。そして、現代医学では治癒が難しいと言われる医原病の事例を、ホメオパシーにて治癒に導く手法を確立した第一人者として、世界的に注目を浴びている。



るのではないかと思います。

——ホメオパシーを取り入れている医師や鍼灸師さんはいらっしゃいますか。

由井 はい。たとえばRAH2期の片山鍼灸師は、鍼灸とホメオパシーの統合を行っています。鍼灸で届かない部分をホメオパシーで補うことで、よい結果を得ています。同じく2期の鳴原助産師は、

出産前からホメオパシーを取り入れていますが、それによってお母さんがとても元気になり、出産も樂になるという結果を得ています。

す。このように医療従事者が、自分たちの専門分野の中でホメオパシーを活用していくことは、とてもよいことだと思っています。もちろん、プロとしてホメオパシー療法を提供するのであれば、医療従事者といえども、きちんと学びプロフェッショナルホメオパスの資格を取得する必要があります。

あるいは千葉のセントマーガレット病院のように病院内にホメオパシー相談会室を設置し、医師とホメオパスの分業体制をとつてゐる例もあります。そこでは私たちホメオパスと医師たちがチームを組み、ホメオパシーと現代医学の連携をとりクライアントの治療にあたっています。これは新しい医療のモデルケースとなるでしょう。

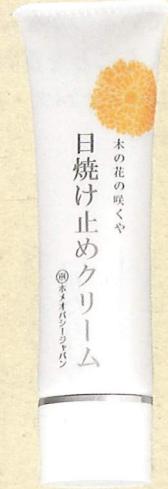
知っておきたいホメオパシーへのこだわり――

ホメオパシー自然農法で作られるレメディーの材料

輸入された材料はどんな作られ方をしているのかわからぬ。そこでレメディーの材料は自分たちで作ろうと決めた由井会長。ついに、北海道の洞爺と静岡県の函南でホメオパシー自然農法を行うことに。

函南ではカレンデュラ、小麦など。ヨーロッパの気候に似ている洞爺は11万坪ほどあり、カレンデュラの他にハイベリカム、アルファルファなどを育てている。専門家を迎えて入れ、徹底したホメオパシー理論を応用した自然農法を行っている。もちろん、窒素、磷酸、カリウムなどの化学肥料を使わず、農薬、除草剤もまかないで、草取りも人の手で実施。また、函南では畑の中に井戸を掘ってきてきれいな水を整備した。

こうして3年が経過し、ようやく軌道にのり、カレンデュラも見事に育つようになったため、今年8月の4~7日には、北海道洞爺のホメオパシー自然農場にて3泊4日の「カレンデュラ花摘みツアー」を行う予定だ。



洞爺のホメオパシー自然農場での由井会長。ハイベリカムやアルファルファのハーブを摘み、ホメオパシー自然農法で育ったハーブの研究を行っている(左)。一つ一つ手摘みで収穫されたカレンデュラ。これがホメオパシーのマザーチンクチャーやレメディーの材料となる。そのカレンデュラエキスを配合し、太陽光、火薬などのレメディー情報を取り入れた「木の花の咲くや 日焼け止めクリーム」(右)



Part 3

ホメオパシーの カウンセリング

ホメオパスは、 クライアントが自分の問題に 気づくための『鏡』のような存在

ホメオパシーのカウンセリングは「ホメオパシー健康相談」と呼ばれ、その大きな特徴はクライアントの人生を振り返り、何が原因で不調を引き起こしているのかを探り、同種のレメディーを選択することにあります。実際にはどんなことを質問し、どのようにレメディーを導き出しているのでしょうか。JPHMA認定ホメオパス・片桐航さんにお話をうかがいました。

取材・文◎水原敦子



エネルギーの乱れが
体にサインとして現れる

まずはホメオパスにとって、ホメオパシー健康相談がどのような役割を果たすのか、うかがいました。

「体がどのような状態にあるのか、その特徴を聞くことです。ホメオパシーでは体が発している症状そのものを、病気だとは捉えません。私たちは自己治癒力を持つていで、それをホメオパシーではバイタルフォースと言います。そしてその乱れが病気と考えています。つまり大元の病気の原因は肉体レベルではなく、エネルギーレベルの障害（バイタルフォースの乱れ）と考えています。自己治癒力が治癒を導くために動いている反応や排出が症状で、私たちはその症状をしつかり聞き同種のレメディーを選び出します」

ホメオパシー健康相談では、クライアントに質問する基本的な内容があるそうです。
「私たちとは今、ハーネマンの時代に使われていた手法（TBR）を手本にして、クライアントから必要な情報を得ています。それに基づき部位、感覚、基調というものを中心に聞きます。部位というの

ホメオパシーの知識を 学び身につけるには――

アカデミーで学ぶ ホメオパシー健康相談

「今から10年位前に、1人の妊婦さんが自分でレメディーをとり、赤ちゃんに語りかけながら、ボトリと産み落とされました。この見事なお産が、私をRAHに入學する決意をさせました。

病院から得られるデーターも大切ですが、妊婦さんがどのようにこの妊娠を迎え、問題になっているのは何かといった、この方が生きてきたストーリーを聞くことが、ホメオパシーのレメディーを選ぶために、大事なことなのです。

ホメオパシーは、医学的な見方はもちろんですが、むしろ、“人間を理解する”というような哲学的な要素の濃い学問ではないか、と考えています。そして、心と体は常に一緒にいる、切り離すことはできないものと、由井学長からも教えて頂きました。この人間を理解するということが、ホメオパシーの健康相談には重要です

専門校であるロイヤル・ホメオパシー・アカデミーで学ぶ同種療法士（ホメオパス）の仕事、それは、テクニックの前に人間教育なのである。



鷲原操さん。JPHMA認定ホメオパス。助産師。92年第14回母子保健奨励賞受賞。自宅や助産院で自然分娩による出産を手がける。RAH講師

片桐航（かたぎりわたる）さん
JPHMA認定ホメオパス、認定アニマルホメオパス。HMA認定ホメオパス。シニアや男性の問題を多く扱う。RAH2期生。現在はRAH副学長、日本ホメオパシーセンター東京本部センター長をつとめる。

は後頭部や首、鼻など違和感をもつておられる体の具体的な場所。次に感覚はズキズキ、刺すように痛む、という特徴。最後に基調は、その症状がどのような条件でよくなり悪くなるのかということで、3つのうちで最も大事なところです。この3つをあわせると、たとえば“後頭部”が“ズキズキ痛む”それが“太陽の光によって悪くなる”冷たい空気にあるとよくなる”というようになります。

あとは気性もうかがいます。イライラしやすいタイプか、めったに怒らない穏やかなタイプか、な

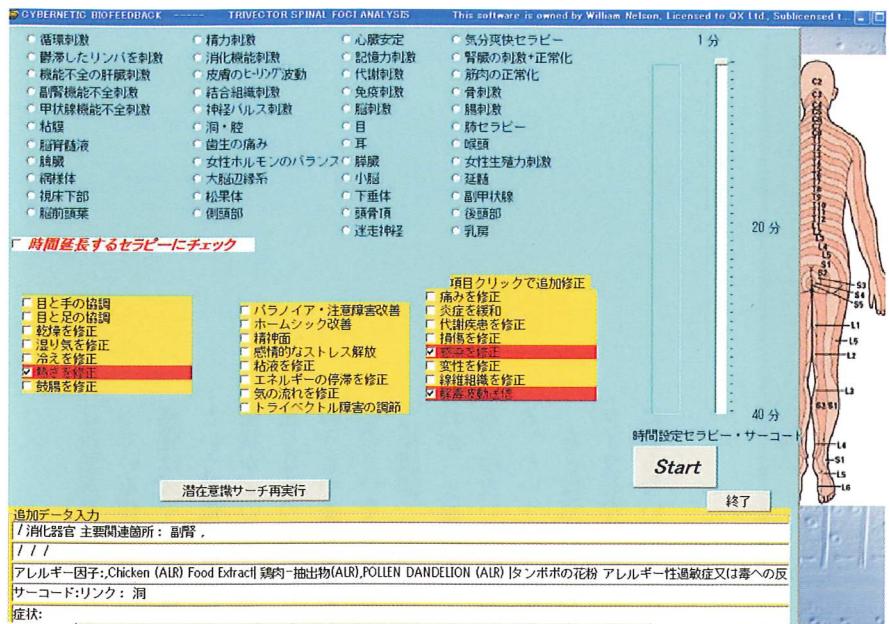
偏見なく話を聞くことで
鏡となつて気づきを導く

ホメオパシー健康相談における
ポイント、それは「偏見なく見る」ということだそうです。

ホメオパシー健康相談における
SCI-O）という機械を測定器として使い、本人の気づいていない原因や、表面化していないシグナル、あるいはエネルギー的な不調を探ります

は、長いと感じるかもしれません
が、これは必要な時間なのだそう
ど。また、その不調がいつから起
きているのか。何か原因がある場
合もあるので、たとえば感染症以
来虚弱になつた、事故にあつてか
らうつが始まつた、などを聞いて
いきます」

「私たちにとって1時間が長いと
いう感覚はないんです。初回の健
康相談はいろいろ聞きますから、
あつという間に1時間が経ちま
す。2回目以降は、たとえば前回
に出したレメディーがどのように
作用したのかを評価しますが、そ
れにまた時間がかかります。それ
から、ホメオパシーをやっていく
と、クライアントが古い記憶を思
い出すこともあるんですね。そう
した新しい情報を入れて、私たち



はレメディーをもう一度確認しなければいけません。ほかにも、ホメオパシーがだいぶ浸透したとはいって、細かい部分でわからないこともあります。たとえば好転反応をどう評価したらいいのかクライアントは聞いてきますので、その説明にあたる時間も必要です」

はレメディーをもう一度確認しなければいけません。

ホメオパスはクライアントを理解しようと努力する

1時間でかなり込み入った内容

のことも話してもらいますから、信頼関係なくしてはできません。

ホメオパスは、何かアドバイスをすることが主となるような仕事ではないんです。同種のレメディーを選択するためにクライアント

とときに気をつけることがあるといいます。

「1時間プライベートなことを話してもらうために、私たちホメオパスが心を開いて話を聞き、クライアントを理解しようとすることが大切です」

クライアントは話すことにより、とめどもなく感情が出て、自

に心を開き話をしてもらうこと。私たちに話をするなかでクライアントの問題が浮き彫りになり、適切なレメディーを選択することができます。同時に、クライアントが私たちに話すことによって、私たちが鏡となり、そこに映し出された自分自身の問題を見る

正があるか聞いてみました。

「まずホメオパシーへの興味が尽きないこと。ホメオパシーの学びを大事に思うこと。ホメオパスは多くの方を治癒に導くことが重要なことで自身のインナーチャイルドを癒し、心身共に健康であることが必要なことだと思います」

自分が感じたり思つたりしていたことに意識的になれるそうです。これはどの療法にも言えることです。

ホメオパス自身が気づいていきます。クライアントを理解するためには、まずホメオパス自身が自分のインナーチャイルドを抱え込み心を閉じてしまつことがないように、自身の問題に向き合ないうことが大事なのです」

最後に、ホメオパスにどんな適

カウンセリングをサポートする測定器 クォンタム・ゼイロイド【スキオ】

クォンタム・ゼイロイド【スキオ】とは、ホメオパシー理論をもとに開発された、生体エネルギーの測定、修正システムです。頭、手足など5カ所にセンサーをつけると、自動的に心身の状態が画面上に現れ、客観的な情報が得られます。開発したのはかつてのNASAの科学者ウイリアム・ネルソン。現在ではハンガリーでホメオパシーのクリニックを開業、由井寅子さんの恩師でもあります。

この機械でわかるのは、体内に不足しているミネラル類や、脊柱などのゆがみ、また心の状態、経絡、はては胎児期の感情など潜在意識についても視覚化されます。カウンセリングの時に、クライアントから得られた情報とSCIOの情報をあわせて、クライアントに確認しながら、最適なレメディーを選択していきます。



世界各国で著名人も愛用するホメオパシー

● ● ●

近年、日本でも注目度が高いホメオパシーは、欧州を発祥とする200年以上の歴史と実績がある療法で、欧米・インドなど広く世界各国で愛用されています。また、21世紀の代替医療の中核として、今後の可能性が注目されています。ドイツをはじめとする欧州の国々やインド、南アフリカ、マレーシアなどでは、国がホメオパシーを認めており、大学の教育課程に組み込まれている所も多いようです。とくにホメオパシーの創始者サミュエル・ハーネマン生誕の地ドイツや、マハトマ・ガンジー首相が国の第一の医学としてホメオパシー医学を熱心に唱道したインドなどでは、国民に広くホメオパシーが浸透しています。

また英国では、古くから王室でホメオパシーが健康法として取り入れられ、エリザベス女王も外遊の際にはホメオパシーキットを携行、チャールズ皇子も大切にしているビーグル犬にホメオパシーを使う程、ホメオパシーの熱心な愛好家です。さらに国立のホメオパシー病院も存在しており、現代医療を扱う医師や医療機関の紹介でホメオパシー療法を実践、精神疾患やアレルギーなどの治療に取り組まれるケースもみられます。

一方、著名人ではサッカー選手のベッカムやアカデミー賞女優のキャサリン・ゼタ=ジョーンズもホメオパシーの愛好家として知られています。

世界ホメオパシー認識週間が定められ世界各国で催しが開催

● ● ●

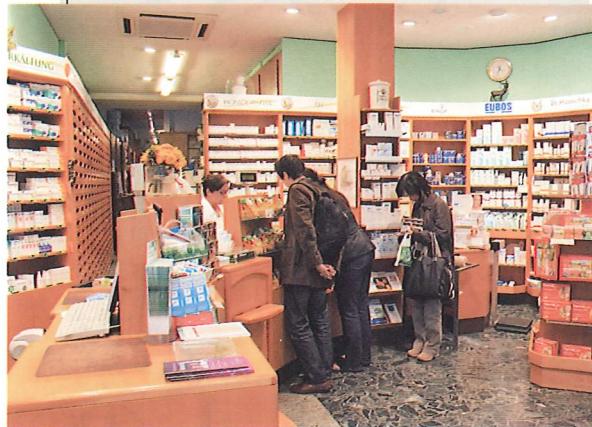
駅や空港、街中のデパートやドラッグストアなどで、簡単にホメオパシーのレメディーを購入することができる国もあります。『大草原の小さな家』などの海外ドラマや小説などには、レメディーが登場。「熱が出たらベラドーナ」「嘔吐のときにはチャイナ」など、レメディーを使い分け、母親が子供に与えている映像をチェックしてみるのも良いでしょう。また、ホメオパスを養成する教育システムが確立している国もあり、たとえばインドでは、30万人以上のホメオパスが活躍しています。

ホメオパスはセルフケアで対応できない、慢性的な心や身体の症状に対する健康相談を行っています。歴史を通じて多くの臨床と実践の結果から、ホメオパシーは経験の医学とも言われ、その有効性が各国で裏づけられてきました。また安全、安価で、物質的な副作用がなく、広く赤ちゃんから妊婦さん、お年寄りにいたるまで使われています。実際に、2004年に6,000名以上の追跡調査が行われた英国のホメオパシー病院の調査結果では、7割以上のクライアントの「主訴」が改善されたという調査結果がありました。

これらの実績からでしょうか、2005年4月のハーネマン生誕250周年記念以降、毎年4月の第2週は「世界ホメオパシー認識週間」として、世界各国でさまざまな催しが展開されるようになりました。そして今年2009年の世界統一テーマは、「ホメオパシーとアレルギー」、また来年は、「ホメオパシーとメンタルヘルス」がテーマとなっています。こうした海外の情報をこまめに入手することで、ホメオパシーの広がりや魅力を認識してみてはいかがでしょうか。



ドイツにあるハーネマン像



オランダのホメオパス・クリニック（上）とドイツの薬局（下）

構成 ○ 本誌編集部 資料提供 ○ 日本ホメオパシー医学協会

歐米のホメオパシー

ホメオパシー先進国

ホメオパシー発祥の地、ドイツをはじめとする欧米諸国では、ホメオパシーが広く一般に普及されています。そこでここでは、海外における最新のホメオパシー事情を解説します。

統合医療の実践を目指す セントマーガレット病院の試み

代替療法を積極的に取り入れる病院が増えていますが、ホメオパシーを受けることができる病院は、まだ少ないようです。

千葉県八千代市にあるセントマーガレット病院では、週に一度ホメオバスが訪れ、健康相談を受け入れる体制を整えています。その試みについて、酒向猛医師に聞きました。

取材・文◎小笠原英晃



外来と入院患者も
ホメオパシーなど
代替・補完医療を受けられる

ました。

すると、由井会長も「今なら病院とも連携ができる」とすぐその申し入れに応じたことから、双方の夢が叶ったというわけです。

セントマーガレット病院に「日本ホメオパシーセンター・セントマーガレット」がオープンしたきっかけは、昨年7月の出来事があつたからでした。

7年ほど前から、日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）由井寅子会長と知り合いだった朝戸理事が、JPHMAのコングレスに参加し、そこで由井会長の発達障害に関する発表を聞き、「ホメオ

パシーでこのように治癒していく経過を見たのは初めてで素晴らしい。ぜひホメオパシーをセントマーガレット病院に導入し、現代医療とうまく連携していきたい」と、再会した由井会長に声をかけ

ました。同病院におけるホメオパシーの健康相談会は、毎週水曜日、由井会長をはじめJPHMA認定ホメオパスによって行われ、「どちらの会員や病院の患者さんなど、1日平均5～7人が訪れます。希望者は西洋医学の検査だけでも受けられ、また、外来や入院患者も希望すればホメオパシー療法が選択できます。

こうしたことが可能になつたのも、既にセントマーガレット病院では、代替・補完医療に取り組んでいたからでした。担当窓口となるドクターは外科医の酒向猛医師で、酒向ドクターは、西洋医学

のがん治療における手術・抗がん剤・放射線治療の限界を感じ、ホメオパシーをはじめとする各種の代替医療に可能性を見出そうとしています。

「西洋医学のがんの三大療法では5年生存率が約50%位で、完全治癒しない場合は、あとは緩和療法しか選択肢がありません。外科の技術もこれ以上がんの治癒率を上げることはできないところにきているんです。

私は千島学説の研究をきっかけに、西洋医学以外の選択肢もあるのではないかと思い、食飮療法や代替療法を自分なりに研究してきました。こちらの病院では、アロマテラピーやホメオパシーをはじめとした代替療法ができる範囲で実践できればと思っています」



セントマーガレット病院で行われる 「ホメオパシー健康相談」



1987年の開設以来、予防～医療～在宅ケアまで地域の中核病院としての役割を果たしてきているセントマーガレット病院。東西医学の融合や、ホメオパシーを含めた統合医療の実践に取り組んでいる



由井会長のほか、JPMA認定ホメオパスが相談に応じる。面談方式のセッションで1回45分程度。最先端の波動測定装置(SCIO)も併用してその人にあったレメディーを選び出す

千島学説とは、千島喜久男博士が提唱した、造血器官は骨髄ではなく小腸の絨毛であるとする腸造血説や、細胞は卵黄や食物の塊などの蛋白質の集合体から新生するとする細胞新生説など、8つの原理からなる革新的医学・生物学理論です。由井会長は、酒向ドクターとの出会いをこう振り返ります。

「一般的な医師なら受け入れないような千島学説や東洋医学を学び、しかもハーネマンが書いた『オルガノン』も読んでいた酒向先生なら、すぐにホメオパシーを理解してくれると思いました」

相談会終了後に、酒向ドクターと由井会長は毎回ミーティングを行います。



酒向猛(さこうたけし)さん

1976年順天堂大学医学部卒業。82年名古屋大学大学院医学研究科入学。88年医学博士。岐阜県立多治見病院外科部長、中津川市民病院外科部長を経て、現在、セントマーガレット病院統合医療科部長。大学時代から千島学説を研究し、その後食療法やエドガー・ケイシー療法ほかさまざまな代替療法を研究。

セントマーガレット病院では、ホメオパスが週に一度健康相談を実施しています。相談会終了後、酒向猛ドクターと由井寅子ホメオパスのミーティング。最適な治療法を患者に提案する理想的な形(テラーメイド医療)がここにはあります。



病院の入り口に張られた日本ホメオパシーセンターによる健康相談会の案内。「セントマーガレット病院との提携によりホメオパシーに理解のあるスタッフのもと、診断・検査・入院等の対応も可能となります」と明記されている



健康相談の対象者は、妊娠・出産のサポート、赤ちゃんや子どもたちの急な症状や病気のケア、発達障害や自閉症など子どもたちの問題行動、慢性病や医原病、高齢者のケア、不育愁訴、精神的問題を抱えている人など

セッション後、ミーティングを行う二人。CT画像を見ながら患者の状態を確認し、最適な治療やレメディーを選んでいく。「とても環境の良い病院で、患者さんも安心して診療を受けに来られるのでありがたい」と由井会長

5



医学の限界を知ったことでホメオパシーを取り入れることを決断

行います。患者の症状や経過について各々の立場から情報・意見交換を行い、患者の希望を聞きながら、西洋医学でやるかホメオパシーでやるか、他の代替療法も併用するか等々を検討し、治療計画を立てるためです。CTスキャナンやMRIの画像診断で経過観察ができるため、「客観的にホメオパシーの作用が確認できるのであります」と由井会長。酒向ドクターもホメオパシーの可能性に大いに期待を寄せています。

「ホメオパシーは21世紀の医学だと思います。見える世界はほぼ20世紀のうちに解明しつくされてるので、こらからは見えない世界をいかに理解していくか、それが医学の進歩にもつながります」

2年後に東京で行われるホメオパシーの国際カンファレンスに向けて、双方の連携はさらに強まる

数多くの代替療法を実践している池川クリニック

● ● ●

クリニックに代替療法を導入する取り組みは、これまで度々行われてきましたが、医師がどれだけ各療法に理解を示し、同時にセラピストがその魅力を十分に伝えることが出来るかが導入実現の鍵になるでしょう。神奈川県横浜市の「池川クリニック」には、さまざまな講座やプログラム、セミナーなどを案内するちらしがあります。そこには、ベビーマッサージやアロマテラピーだけでなく、カラーセラピー、ヒプノセラピー、レイキをはじめ、音響セラピー、ブリーディング、クォンタムタッチなど、多種多様の案内が置かれており、その中に「ホメオパシー」もあります。

「大学の時は西洋医学一辺倒でした。ところが縁あってさまざまな代替療法家の皆さんと知り合うことに。お話を聞きして納得できたら実践、効果があれば使うの繰り返しました」

こう語るのは、胎内記憶の研究にも熱心で、出産・子育てに関する多くの著書を上梓している池川明医学博士。池川クリニック開院以来、多くのセラピストたちに実践の場を提供してきました。遊佐深雪助産師もそのうちの一人。1997年に助産師となり、3年後に東京のロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシーに通い始めることに。その後、池川院長との出会いを経て、毎週木曜日にクリニックで勤務、希望者向けに不定期でホメオパシーの講座を開いています。

妊娠・出産のためのレパートリーを作る

● ● ●

現在、認定ホメオパスである助産師の数が、まだまだ少ないこともあり、助産師でありホメオパスでもある遊佐さんの存在は、とても大きいようです。ある時は緊張とパニックで血圧が上がり、麻酔が効かない妊婦さんにレメディーをとってもらい、またある時は陣痛で苦しむ妊婦さんに適切な処置を行う。こうしてこの7年間で、院内にはオリジナルのレパートリーが増えています。

「私が不在の時にも適切なレメディーの選択が出来るようにと、妊娠中の『つわり』『腰痛』『下痢』、出産時の『分娩前の痛み・進行』『精神』『出血』『疲労』、産後の『胎盤剥離』『うつ・疲労』『痔』『不眠』、そして新生児の『酸欠』『呼吸困難』『黄疸』など、各状況に応じたレパートリーを記したファイルを院内に置いています」と語る遊佐さん。現在も週に一度はアカデミーに学びに通い、池川クリニックだけでなく訪問による健康相談会も開催するなど、精力的にホメオパシーの魅力を伝え活動を展開しています。

「ホメオパシーが大好きなんです。今思うと、助産師だけの時は義務感ばかりで楽しくなかったかもしれません。でもホメオパシーを勉強してからは、助産師だけでなくホメオパスで良かったと実感していますし、助産師で良かったと思えるようになりました。それぞれの良さを活かして仕事が出来るので、楽しくなりました」

西洋医学と代替療法が補完しあうそのメリットは、患者さんだけでなくセラピストにも大きな恩恵をもたらしているようです。



ホメオパシーをはじめ多くの代替療法を取り入れている池川クリニックの池川明院長（左）と、助産師でホメオパスの遊佐深雪さん（右）

ホメオパシーの普及とともに、ホメオパシーを受けることができる施設や場所も、少しずつ広がっています。そこでホメオパシーを導入している産婦人科、学校、アニマルクリニックの3つを紹介します。まず最初は、
神奈川県横浜市の産婦人科「池川クリニック」のケースです。

文◎本誌編集部

広がるホメオパス活躍の舞台 「産婦人科のホメオパス」



動物実験もいらない自然療法こそ動物に適した療法だと実感

● ● ●

兵庫県伊丹市にある「笹木アニマルクリニック（往診専門）」で獣医師を務める笹木眞理子さんは、かつて西洋医学による治療に限界を感じた経験を元に、ホメオパスとして動物へのホメオパシーを行っています。「大学を卒業すると同時に製薬会社に勤務したのですが、そこで繰り返された動物実験の嫌な体験が心を苦しめ、臨床獣医師になる決心をしました。ところが、いざなってみると薬に抵抗する動物たちの姿を目の当たりにして、これで本当に治療しているのだろうか？と疑問に感じました。また、保険が利きませんから治療費も高く、完治していなくても飼い主が通院を諦めてしまうのです」

こうした悩みがつづいたため、3年間弱の臨床経験に終止符を打つことに。その後、それまでとはまったく異なる職業に就くが、自身のお子さんのアトピーがきっかけで民間療法を試みる日々が始まりました。

「ある時、サイトで“ホメオパシー”という言葉に行き着きました。調べてみると同種療法を中心とした考え方に入られ、しかも動物実験をする必要もありません。そこで、学校に通ってみよう決心しました」

2003年4月にロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシーに入学した笹木さんは、4年生の時にクリニックを開業、現在は動物だけでなく人に対するホメオパシー相談も行っています。

「実は動物と同じ問題を、その飼い主自身が抱えていることが多いのです。また動物はお腹が痛い、頭が痛いなど言葉を発しませんから、人に比べて難しいケースもあります。アニマルホメオパスは、動物たちの出すわずかなサインを見逃さないよう観察力が養われ、またその経験を生かしながら人も愈すことができる素敵な職業だと思っています」

思春期の心のケアにホメオパシーは大活躍

● ● ●

近年、ホメオパスの活動の場は、教育現場にまで広がっています。沖縄県名護市にある久志中学校では8年前から保健室にレメディーが置かれ、生徒たちが自然療法を実践しているそうです。1999年にJPMA認定ホメオパスとなった宮城勝子さんは、ホメオパシー導入の経緯について、次のように語ります。

「私が務める養護学校では、以前から子供たちの自然治癒力を触発させることが大事だと考え、その一環として自然療法を実践していました。子供たちは思春期を迎え多感な時期を過ごしていますから、いじめや嫉妬もあれば、心に傷を負うこともあります。そんな時に、ホメオパシーはとても有効だと感じました」

宮城さんは小学校・中学校の養護教諭として32年の経験を持っていますが、12年前にホメオパシーを学ぶために1年間東京を訪れます。そしてその後3年間、ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシーの福岡校で勉強。現在は、昨年開校した沖縄校で学びを続けています。

「ホメオパシーを使い癒されたことは、子供たちにとってとても大きな経験になります。そして生徒たちをきっかけに、この自然療法は各家庭にも普及し始めています」

広がるホメオパス活躍の舞台 「アニマルクリニック」「学校」

最後に紹介するのは、兵庫県伊丹市の「笹木アニマルクリニック」で

獣医師兼ホメオパスとして活動する笹木眞理子さんと、

沖縄県名護市久志中学校で養護教諭兼ホメオパスとして勤務する宮城勝子さんのケースです。



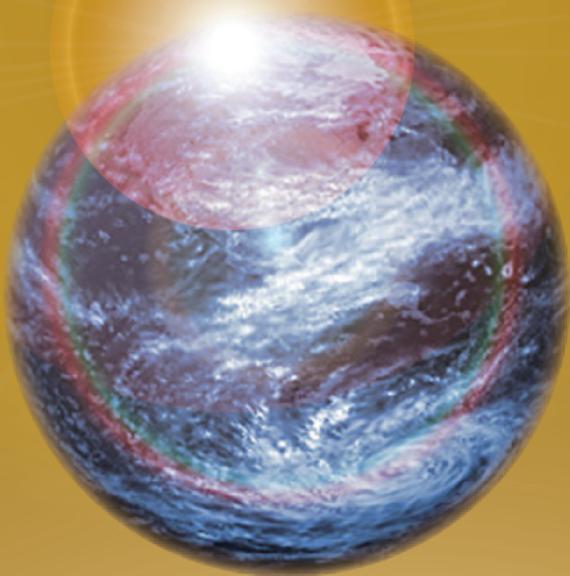
文◎本誌編集部



「笹木アニマルクリニック（往診専門）」の笹木眞理子さん（左）と、沖縄県名護市久志中学校で養護教諭を務める宮城勝子さん（右）



— 京都から日本が変わる —
第10回 JPHMA コングレス



テーマ：真の医学ホメオパシーの可能性

アレルギー、アトピー、自閉、多動など発達障害や精神疾患まで
全国で治癒するホメオパスのさまざまな治癒事例を発表します。

日時：2009年9月12日(土)・13日(日)

会場：京都国際会館

参加費：18,000円（一般／両日参加）

10,000円（一般／1日参加）

※早期お申込み割引あり

ホメオパシー
ホップ2009 ステップ2010 ジャンプ2011

3世(過去、現在、未来)を繋ぐホメオパシー

JPHMA 日本ホメオパシー医学協会 www.jphma.org

〒151-0061 東京都渋谷区初台 2-1-4 日本ホメオパシーセンター東京本部ビル
TEL : 03-5452-8103 FAX : 03-5452-8104



— 京都から日本が変わる —
第10回 JPHMA コングレス



テーマ：真の医学ホメオパシーの可能性

アレルギー、アトピー、自閉、多動など発達障害や精神疾患まで
全国で治癒するホメオパスのさまざまな治癒事例を発表します。

日時：2009年9月12日(土)・13日(日)

会場：京都国際会館

参加費：18,000円（一般/両日参加）

10,000円（一般/1日参加）

※早期お申込み割引あり

ホメオパシー

ホップ2009 ステップ2010 ジャンプ2011

過去(過去、現在、未来)を繋ぐホメオパシー

JPHMA 日本ホメオパシー医学協会 www.jphma.org

〒151-0061 東京都渋谷区初台 2-1-4 日本ホメオパシーセンター東京本部ビル
TEL : 03-5452-8103 FAX : 03-5452-8104